

2015年10月25日

第154回東京六稜倶楽部

- I. 日 時： 2015年10月21日（水） 11時30分～14時
- II. 場 所： 銀座ライオン7丁目店6階
- IV. 講 師： 釜江 尚彦氏（69期）
- V. 演 題： 「歩くのは楽しい～山歩き、里歩きの楽しさ」
- VI. 講師紹介： 高校時代は山岳部所属。当時部長であった石田先生がいろいろな山へ連れて行ってくれたことから山の楽しさが判るようになった。京都大学工学部電気工学科卒業後大学院で修士課程終了。登山の他に旅行が好きだったので、交通公社に入りしたいと思い、世間知らずにも交通公社の社長宛に入社したいという手紙を出した。それに対し社長から丁寧な返事があったが、内容は工学部出身者は交通公社では採用しないというものであった。
- 公社は諦めざるを得なかったので、電電公社（現在のNTT）に入社、機会を得てフルブライト留学生試験を受け、幸い米国イリノイ大学に受け入れられた。帰国後はNTTの情報通信分野を担当、定年まで務めた。

VII. 講演概要：

1. パソコン利用により数多くの綺麗な映像を映しながらの講演であった。
2. 山歩き・里歩きには、1) 花の美しさ、2) 眺望の素晴らしさ 3) 溪谷・滝など「水」の美しさ、4) 朝夕の景色の美しさ等多くの楽しさがある。
3. 以下は映像を説明しながらの講演であったので、メモをとれる範囲でそれらを列記する。

「A」花

- 1) 町田市からの菜の花、シラネアオイ等

「B」眺望

- 1) 大月市からの眺望
- 2) 薬師岳からの眺望
- 3) 美ヶ原高原から八ヶ岳、槍ヶ岳の眺望
- 4) 白馬大雪溪
- 5) 愛鷹山からの富士山

「C」水

- 1) 立山のミクリガ池
- 2) 黒部溪谷
- 3) 立山、称名の滝
- 4) 白山からの不動滝
- 5) 北八ヶ岳双子池

「D」朝夕の景色

- 1) 八ヶ岳、硫黄岳からの富士山
- 2) 夕闇迫る剣岳
- 3) 富山湾の夕日
- 4) 三浦半島からの富士山

「里歩き等」

- 1) 琵琶湖今津ウナギ
- 2) 多摩川河口シジミ
- 3) 八高線衝突事故の記録（終戦後）
- 4) 南蔵王B29の墜落事故
- 5) 見沼通船堀の木造の溝門
- 6) 鯖街道
- 7) 琵琶湖周歩

「日頃のトレーニング」

- 1) 山歩き、里歩きを楽しむためには日頃のトレーニングが必要。
例えば、斜面を登るトレーニングとして、84段ある東京の愛宕山の石段を登ったり、家の中の階段の上り下りを繰り返すなど、やりようがある。
- 2) 山歩きなどの傾斜で滑らないためには、「ひざ関節を曲げる」ことが重要。
特に下りの方が滑りやすいことに留意し、下りにはスキーのスティック（これと同様の2本の杖あり）などを利用するのも良い。

「何処で歩くか」

1. イギリスには、なだらかな丘が続く Public Footpath があり、総延長が24万キロもある。
2. 日本国内には北海道にも東部中標津から摩周湖までの長いFootpathがある。
3. 東京の場合は、郊外の多摩川用水から用水路に沿った歩道やサイクリング道路があるので利用できる。

なお、長く歩く場合にはトイレの問題があるが、外国とは異なり国内には
要所にトイレがあるので利用できる。

以 上

(記録 65 期 峯和雄)